

# ライオン訪問と国際交流

都留文科大英文学教授 中村 一夫

私はこの七月、約三週間にわたって(大島教授と共に)学生を連れてアメリカに研修旅行に行っていましたので、そのことについて二、三雑感を記したいと思います。

行った先はアイオワ州ですが、同州はすでに三十年も前から山梨県と友好関係を結んでいて、今回我々がスムーズに事を成せたのもそれに負うところが大きかったです。アイオワ州に滞在中は全行程コミュニケーション・カレッジの人文部長のメアリー・リーニー先生が我々に付き添って献身的に世話をしてくださいましたが、先生は昨年アイオワ州からの山梨県訪問団の一員として来られ、都留文科大にも足を運ばれた方でした。

我々は三つの大学を回って来ました。一つはアイオワ・ステーツ・ユニバーシティでこれは参観にとどめましたが、他の二つの大学アイオワ大とアイオワ・セントラル・コミュニティ・カレッジではそれぞれ大学の寮(ドーム)に宿泊しました。

さて、毎回外国(主としてアメリカ)に行く度にそうなのですが、大学に足を踏み入れると、その大きき、底力というものに圧倒される思いがします。(正直に言って自分の大学を思い浮かべて寂しくなったものでした。)これは大学

のみならず、一般に外国の社会資本の蓄積の厚さというものは、はるかに日本のパブル的豊かさを越えているという感じですが、キャンパスの広さは勿論ですが(これは仕方がない)、施設の多さ、そこで働く職員(スタッフ)の豊富さ、自由なのびのびした環境、各種の活動の広がりなどです。たとえばアイオワ州立大には美術館があり、劇場があり、展覧会、コンサート、演劇公演、映画会などが随時開かれています。卑近な例ではキャンパス内を何コースかのバスが回っていました。運転しているのは学生で、その学生は勝手にラジカセを足元に持ち込んでそれを聞きながら運転しています。(しかし大きな音を出して人に迷惑をかけるような野暮なことは絶対にありません。)大学の周辺には託児所が数軒ありました。それは学生の子供をあずかる託児所で、働いているのは学生です。

もう一つ驚いたことはアメリカにおける日本語熱の高まりでした。アイオワ大学には日本語コースがあつて多くの学生が日本語と日本の文化を熱心に学んでいます。また、大学のことではないのですが、今では日本語を塾(?)で勉強している子供がたくさんいるのはびっくりしました。本当に日本の

経済や文化の影響は大きいのだなと今更ながら思いました。

ところで今日は日本中が国際化の掛け声に満ち、大学もその渦中にあります。特に私立大学では多くが外国の大学と姉妹関係を結んでいます。そこで我が大学もつと国際的交流をして行かなければ時代に取り残されるかも知れないという心配が起こっています。それにはどこかの大学と提携をしなければなりません。それは簡単に成立するものではありません。お互いの格や規模の問題もあるしそれに対応する人的エネルギーも相当必要です。しかし、それらの障害を乗り越えて行かなければならない運命にあるのではないかと今更思つた次第です。

今私は、例えば、このアイオワ大学の「アジア言語文学科」の大学院生、卒業生を呼んできて英語の授業を担当してもらい、代わりに彼等に日本語の中に身を置き、日本の文化に触れさせてやりたいと思つています。(そして日本の文化のすぐれたものをもつと世界の人に知らせてやりたいのです。)そうすれば我が大学のキャンパスにも少しは国際的雰囲気生まれ、活気が出てくるのではないかと、さしずめこんなことから一歩踏み出せないか、と思つています。

## ふるさと創生事業

### オペラ界のホープ斉田正子さんを招いて

#### ●美との出あいの郷コンサート開催

市民の皆様が親しみ深い行事として育てられてきた「美との出あいの郷」コンサートも、今年で第三回を迎えることになりました。このコンサートは、ふるさと創生事業「SANTIKAMPASTAワン都留」の「美との出あいの郷」Aプランの一環として開催されるものであります。市民の皆様の参加をお待ちしています。

なお、会場の収容人員が二五〇名ですので、整理券を発行します。お早目に往復ハガキで申し込んでください。

●市内小・中・高校生の演奏  
●都留文科大学生の合唱  
●都留市民コーラスのグループの合唱

#### ●声楽家「斉田正子先生」の独唱



東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。一九八三年、東京芸術大学定期演奏会「売られた花嫁」のエスメラルダでオペラ・デビュー。八四年秋より国際文化教育交流財団(経団連・石坂財団)の留学生としてミラノに学び、八五年第六回パヴァリア国際コンクール第三回入賞。八六年九月第三十五回、ミュンヘン国際音楽コンクール第二位に入賞。帰国後、藤原歌劇団「椿姫」オーディションに合格し、八八年三月に新宿文化センターでの「椿姫」のヴィオレッタで藤原歌劇団にデビューし絶賛を博した期待の新進ソプラノ。その後も「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」「スペードの女王」他に出演、プリマドンナとして活躍。NHKニューイヤーパーラコンサートにも出演し好評を博している。